

教育事業部

(1) 単位互換事業

<概要>

第4ステージプラン（2014～2018年度）において単位互換事業については、「質への転換」として1) 科目の特色化、2) 科目内容・到達度に関する点検評価機能の構築、3) 単位互換科目の質的転換の打ち出しを主とした広報強化が課題である。

財団設立当初より先駆的に実施してきた事業であり、現在も受講者数・科目数ともに全国有数の規模を誇る。しかしながら、特色の明確でない科目の存在と、大学教育の質保証にむけて、各加盟校の学位授与方針に沿った履修制度の整備による単位互換科目の随意科目化や、履修制限の傾向から受講出願者が減少している。これについて、従来の量から「質への転換」を目指し、2015年度には京都の世界遺産社寺等を対象に課題解決型授業を展開する「京都世界遺産 PBL 科目」（7科目）を新設開講し、2016年度は2年目として教育効果向上と安定的運営に向けた改善を図る。また、事業全体として、提供科目のガイドラインの設定、プラザ科目・プラザ推奨科目補助制度の2015年度に実施した見直しを2016年度において実行を進めるとともに、質的転換の社会的発信を図る。

<実績>

1. 2016年度単位互換事業出願状況について

協定大学数	提供科目数	出願者数	送出者数	2015送出者数	増減	受入者数
36 大学・12 短期大学 合計 48 校	457	3,369	3,120	3,412	-292	3,120

2. 2016年度「京都世界遺産 PBL 科目」の出願状況について

受入先 世界遺産	開設大学	科目 開設 大学	京都 学園	京都 女子	種智 院	同志 社	同志 社女子	佛教	立命 館	龍谷	合計
上賀茂神社	京都産業大学	3	1			1	1	3	3		12
醍醐寺	京都橘大学	9									9
清水寺	立命館大学	5								3	8
醍醐寺	龍谷大学	5		1	1				4	4	15
延暦寺	京都文教大学	15								1	16
二条城	同志社大学	16		1			1		1	1	20
仁和寺	立命館大学	13						1			14
合計		66	1	2	1	1	2	4	8	9	94

(2) 生涯学習事業

<概要>

第4ステージプラン（2014～2018年度）において生涯学習事業（京（みやこ）カレッジ）」について、1) 提供科目の整理、2) 他機関の生涯学習事業との連携による広報体制の確立が課題である。

近年約450もの大学提供科目に延べ2,000名に近い出願者数を獲得しているが、科目によっては出願者がないものもあり、大学提供科目の特色化をさらに進める。2016年度より特色ある科目設定を促進するよう補助金について「市民教養講座開設補助費」に再編し、市民教養講座について「教養力養成コース」、「京都力養成コース」に整理したことからこれを促進する。さらに、各大学の生涯学習事業と連携を促進し生涯学習機能の高度化を図るため2016年度に「京カレッジ大学リレー講座」をパイロット事業で行う。また、高齢化等を背景にした市民の生涯学習へのニーズの高まりと、各大学の生涯学習事業や地域連携事業等の重要性に伴う、本財団の京カレッジ事業の展開を総合的に検討する「生涯学習事業企画検討会議」を設置する。

<実績>

1. 2016年度生涯学習事業京カレッジ出願状況について

科目提供大学数	提供科目数	出願科目数	出願率	出願者数				出願者合計		受講許可者数
				実数		延べ数		実数	延べ数	
				前期	後期	前期	後期			
31 大学・短期大学・2 機関	314	154	47.8%	812	21	1,576	34	833	1,610	1,292

2. 京都学講座「京の文化遺産～未来につなぐ日本のたからもの」の2016年度実施状況について

回数	開講日	テーマ	講師 *敬称略	出席者	昨年度
特別	3/12	まちかどの神さん・仏さん	冷泉貴実子	421	(400)
1	4/30	賀茂の文化～式年遷宮諸祭を終えて	田中安比呂、小林一彦	246	259
2	5/14	京町家のくらし・しきたり	杉本節子	233	240
3	5/21	二条城の魅力～建築と障壁画の融合	並木誠士	233	245
4	6/25	祇園祭の現在と未来	岸本吉博、八木透	228	214
5	7/16	京の花街の建築文化	井上えり子	226	237
6	9/3	京の洋風建築の見所案内	川島智生	216	206
7	10/8	文化遺産としての保津川下り	豊田知八、河原典史	201	210
8	10/22	岡崎の文化的景観と琵琶湖疏水	白木正俊	207	199
9	11/12	日本の伝統的な出汁	伏木亨	195	187
10	12/10	清水の舞台から	森清範	213	191
実地	7/22	重要文化財杉本家住宅	杉本節子	38	33
実地	11/26	日本料理の醍醐味を語る京料理萬重	田村國勝	44	33

3. 4/1以降に実施を決定した京都学講座企画

特別	5/22	魅惑の京都建築～文化遺産の視点で	川島智生	*落選者対象1	40
特別	12/18	年末年始の祓い悔過	八木透	*落選者対象2	34

特別	12/17	日本料理の醍醐味を探る京料理萬重	田村國勝	*実地講座落選者対象	29
----	-------	------------------	------	------------	----

4. 大学リレー講座の実施状況について

回	講座日	開講大学	テーマ	担当教員	人数
1	5/28	龍谷大学	“かおり”で会話する生き物たち	塩尻 かおり	47
2	6/18	京都工芸繊維大学	京の伝統的発酵食品とピンピンコロリ型健康長寿社会	井沢 真吾	55
3	7/16	大谷大学	宗教と心理学の違いー特に仏教の視点を中心として	新田 智通	83
4	9/17	京都嵯峨芸術大学	重要無形民俗文化財「嵯峨大念佛狂言」を楽しむ	芳野 明	65
5	10/15	京都精華大学	人文学の世界・人は何のために生きていくのか	ウスビ・サコ	54
6	11/5	京都橘大学	京の都から発信する。京の都の災いの払いかた -そのとき、あなたはどしはりますか？-	西本 泰久他 ※()は当日	189 (33)
7	12/17	池坊短期大学	いけばなに見る日本美 - 他国にみない日本人の美意識 -	土屋 郁剛	38
8	2/18	京都産業大学	‘重さ’を見る天文学	米原 厚憲	48

(3) インターンシップ事業

<概要>

1998年度より財団事業として全国に先駆けて実施しているが、大学や社会でのキャリア教育への認識の高まりによるインターンシップの各大学・各団体での事業定着化に伴い、財団事業としての出願学生数や登録機関数は減少傾向にある中、その特色化が求められている。第4ステージプランにおいて、財団インターンシップ事業の特色と優位性として、1) 産学官連携による教育プログラムとして位置づけ、継続的に展開、2) インターカレッジ・ゼミとしての特色、3) コース等の増設・再編を繰り返しながら、団体数・実習生数も飛躍的に伸ばしてきたことを確認し、「大学→社会の接続を目的としたキャリア教育としての「インターンシップ事業」の推進」を課題としている。その後も大学独自のプログラムが拡大する中であっても、インターカレッジで行う財団の特色を生かし、引き続き、質の高い教育プログラムとしての実施への要望が加盟大学や協力企業から出されている。2016年度は昨年度行った改善計画を実施するとともに、2017年度に向けて講義内容も含めたプログラム全体の見直し・改善をインターンシップ事業企画検討委員会を中心に進め、各コースのコーディネーター会議からの意見・助言も参考にしつつ、質的充実を図る。

<実績>

2016年度出願・受講・受入企業状況および修了状況について ※出願大学は30大学・短期大学

コース名	学生				企業・団体		
	出願者数	実習許可者数	受講率	修了者数	登録団体数	受入団体数	受入率
ビジネス	458	252	78.6%	233	172	127	73.8%
パブリック		108		102			
プログレス	66	61	92.4%	57	17	11	64.7%
合計	524	421	80.3%	392	238	176	73.9%

① 全体の出願者数は昨年度比 67 名減だが、実習許可者は実数で 33 名増となり、出願者の受講率は

80.3%と近年にない高い率となった。

- ② これまで無かった加盟短期大学学生について新規に3短期大学より3名の出願があった。
- ③ 2回生について、出願者数は昨年度比18名増、実習許可者数も17名増と他学年と比べ増えた。
- ④ 長期間(5か月)PBL的なプログレスコースと、本財団の優位性の高い自治体関係への出願者受講許可者数が増加し、各大学独自のインターンシッププログラムの増加や全国的に企業・団体自身によるものが増加する中、本財団のプログラムの特徴面が伸びる形となった。
- ⑤ 一方、ビジネスコースの受入企業・団体数は昨年より増加したが、実習許可数がほぼ同数であったこと、希望先が集中傾向にあったことから受入登録団体全体での受入率は減少した。

各種委員会等の開催について

(1) 単位互換事業・生涯学習事業(京カレッジ)

① 教育事業企画検討委員会(専門委員会)

6月22日(水) 第1回(主要議題:2017年度以降の単位互換事業・生涯学習事業の展開について)

11月4日(金) 第2回(主要議題:2017年度単位互換事業・生涯学習事業の展開について)

(2) 生涯学習事業(京カレッジ)

① 生涯学習事業企画検討会議(旧:京カレッジ企画検討会議)

主要議題:生涯学習事業における大学連携を含めた今後の展開について
京カレッジ市民教養講座開設補助費の採択について

② 京都学企画検討委員会

7月12日(火) 第1回(主要議題:2016年度京都学講座の実施状況と2017年度実施方針)

8月17日(水) 第2回(主要議題:2017年度京都学講座の実施形態とテーマについて)

10月4日(火) 第3回(主要議題:2017年度京都学講座の実施形態とテーマについて)

12月13日(火) 第4回(主要議題:2017年度京都学講座の実施形態とテーマについて)

(3) インターンシップ事業

① インターンシップ事業企画検討委員会(専門委員会)

6月17日(金) 第1回(主要議題:2016年度事業の目的の明確化・具体化について他)

10月21日(金) 第2回(主要議題:2017年度講義計画(シラバス)について他)

11月25日(金) 第3回(主要議題:2017年度講義計画・スケジュールについて他)

2月24日(金) 第4回(主要議題:2016年度プログラムの振り返り、2017年度運営について他)

② インターンシップ・プログラムコーディネーター会議(ビジネス・パブリック)

4月20日(水) 第1回(主要議題:2015年度インターンシップ・プログラム事業推進体制他)

6月7日(火) 第2回(主要議題:事前学習の進め方について 他)

6月11日(土) 第3回(主要議題:事前学習実施に関わる連絡事項について 他)

- 6月 25日(土) 第4回(主要議題:実習・中間指導について 他)
- 7月 2日(土) 第5回(主要議題:実習状況の報告について 他)
- 9月 24日(土) 第6回(主要議題:2017年度講義計画(シラバス)について 他)
- 10月 28日(金) 第7回(主要課題:成績評価確定、2017年度講義計画確定 他)

③ インターンシップ・プログラム コーディネーター会議(プロGRESS)

- 4月 21日(木) 受入先合同会議 第1回(主要議題:2016年度受入先・コーディネータ顔合せ 他)
- 5月 26日(木) 第1回(主要議題:2016年度成績基準、各プログラム実施目的について 他)
- 6月 9日(木) 受入先合同会議 第2回(主要議題:2016年度年間スケジュール 他)
- 6月 30日(木) 第2回(主要議題:プロジェクト毎の内容確認について 他)
- 7月 14日(木) 第3回(主要議題:プロジェクト毎の活動内容について 他)
- 9月 29日(木) 第4回(主要議題:夏期休暇中の進捗状況、成果報告会、2017年度講義計画 他)
- 11月 24日(木) 受入先合同会議 第3回(主要議題:2016年度総括 他)
第5回(主要議題:成績評価、2017年度講義計画の確定について 他)

教育開発事業部

(1) FD事業

<概要>

「FDフォーラム企画検討委員会」および「FD企画研究委員会」の2委員会体制を維持しながら、2015年度より「FD企画研究委員会」のもとに2つのチーム「FDマクロチーム」と「FDマイクロチーム」を設置し、少人数で機動的に企画を検討・運営できるよう組織の改編を行なった。

FD企画研究委員会については、2016年度もチーム別検討体制のメリットを活かしながら、より安定的な運営に向けた工夫を図りつつ、第4ステージプラン中間総括期となる2016年度末には、運営については2チーム体制を維持しながら、1チーム化の可否を検討する。また、2つの委員会の事業運営について、有機的に繋がるよう、それぞれの委員会において、互いに他方の委員会進捗状況を報告する。

<実績>

◆京都FD執行部塾（6月25日開催）

「21世紀の大学教育の質保証 ―そのあるべき方向―」

日時：2016年6月25日（土）11：30～12：30

場所：キャンパスプラザ京都 2階 第1会議室

講師：鈴木 典比古氏（国際教養大学 理事長・学長）

参加者数：39名

◆教育IRフォーラム

変革する大学！「学修成果の可視化」から教育・授業を変える

～「高大接続改革」で大学に求められる教育改革の取組と実践例～

日時：2016年7月30日（土）13：00～17：00

場所：キャンパスプラザ京都 5階 第1講義室

基調講演：小林 浩氏（リクルート進学総研所長 リクルート「カレッジマネジメント」編集長）

事例発表：大庭 一郎氏（筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類 講師）

事例発表：川那部 隆司氏（立命館大学 教育開発推進機構 准教授）

参加者数：190名

◆新任教員FD合同研修プログラムA

日時：2016年9月17日（土）13：00～18：00

場所：キャンパスプラザ京都 第3講義室

講義・ワークショップ

1. FD・大学教員のキャリア開発（京都産業大学 教授 耳野 健二）

2. 学習支援・特別支援のための基礎知識・ワークショップ（京都大学 障害学生支援ルーム 助教 村田 淳）

日時：2016年9月18日（日）10：00～16：30

場所：キャンパスプラザ京都 第4講義室

講義・ワークショップ

- ① 授業デザインのための基礎知識・ワークショップ（立命館大学 教授 安岡 高志）
- ② 学習者中心の授業運営のための基礎知識・ワークショップ（京都学園大学 准教授 三保 紀裕）

参加者数：18名

◆新任教員FD合同研修プログラムB

日時：2017年3月11日（土）13：00～17：00

場所：キャンパスプラザ京都 第4講義室

講義・ワークショップ

- ① 京都の大学、大学のまち京都（大学コンソーシアム京都 副事務局長 栗田 洋）
- ② 成績評価のためのワークショッププレクチャー（同志社大学 文学部 教授/副学長 園月 勝博）

日時：2017年3月12日（日）9：30～17：00

場所：キャンパスプラザ京都 第4講義室

講義・ワークショップ

- ③ 授業設計のためのワークショップ（京都光華女子大学 教授 阿部 一晴）
- ④ 授業実践ワークショップ（京都光華女子大学 教授 阿部 一晴）

参加者数：13名

◆京都FDer塾×大学教育パワーアップセミナー合同企画

日時：2017年1月21日（土）13：00～17：00

場所：キャンパスプラザ京都 第1講義室、第2演習室、第4演習室

テーマ：教育の質保証について考える

基調講演：「教育の質保証とIR」

山田 礼子氏（同志社大学 社会学部 教授）

分科会A：「京都外国語大学における教育の質保証の取組と学修成果の可視化」

早瀬 明氏（総合企画室長 教授）

村上 正行氏（マルチメディア教育研究センター 教授）

「愛知教育大学における教員養成の質保証に向けた教学データ活用—4大学連携に基づくIRの可能性—」

京免 徹雄氏（学校教育講座 講師）

分科会B：「学び合いと成長を促すための様々な仕掛けを創り出す」

久保 秀雄氏（京都産業大学 法学部 准教授）

分科会C：「『主体的・対話的で深い学び』を引き出す授業をデザインする」

山田 剛史氏（京都大学 高等教育研究開発推進センター 准教授）

参加者数：99名

◆第22回FDフォーラム

日時：2017年3月4日（土）13：00～17：00 シンポジウム

17：30～19：00 情報交換会

場所：京都コンサートホール大ホール、ホワイエ

テーマ：大学の教育力を発信する

シンポジスト：林 哲介氏（京都三大学教養教育研究・推進機構 特任教授/京都大学名誉教授）

日比 嘉高氏（名古屋大学大学院文学研究科 准教授）

鬼塚 哲郎氏（京都産業大学 文化学部 教授）

コーディネーター：児玉 英明氏（京都三大学教養教育研究・推進機構 特任准教授）

日時：2017年3月5日（日）10：00～15：30 分科会

11：00～15：30 ポスターセッション、特別企画ブース

12：00～13：30 ポスターセッションコアタイム

場所：教養教育共同化施設「稲盛記念会館」（京都府立大学下鴨キャンパス内）

参加者数：669名（シンポジウム）

797名（分科会含む全体）

（2）SD事業

<概要>

◆大学職員共同研修

社会人としての基礎知識から大学職員としての汎用的なスキルを修得できる場として提供し、職務遂行能力向上に寄与する。2013年度にプログラムの見直しを行い、2014年度以降4ヵ年17プログラムの計画を策定した3年目。適切な運営事業者とのマッチングによる質の向上に努め、シラバスの体系的な提示により、受講者に、研修の狙いや獲得目標を一層わかりやすく伝える工夫を図る。

<実績>

◆大学職員共同研修プログラム

- ・ビジネスマナー研修（基礎編）

日時：2016年3月17日（木）、3月23日（水）、3月25日（金）、5月27日（金）

全日程9：45～17：15

場所：キャンパスプラザ京都

参加者数：計52名（内訳：加盟50名、非加盟0名、財団職員2名）

- ・現代ビジネスマナー

日時：2016年8月5日（金）9：45～17：15

場所：キャンパスプラザ京都

参加者数：計9名（内訳：加盟6名、非加盟0名、財団職員3名）

- ・キャリアデザイン

日時：2016年9月1日（木）9：45～17：15

場所：キャンパスプラザ京都

参加者数：計11名（内訳：加盟9名、非加盟2名）

・ファシリテーションの基本

日時：2016年9月6日（火）9：45～17：15

場所：キャンパスプラザ京都

参加者数：計24名（内訳：加盟19名、非加盟3名、財団職員2名）

・企画立案力向上

日時：2016年9月8日（木）9：45～17：15

場所：キャンパスプラザ京都

参加者数：計14名（内訳：加盟12名、非加盟2名）

◆SD フォーラム

日時：2016年10月23日（日）10：00～17：15

場所：キャンパスプラザ京都

テーマ：大学職員の「専門性」を考える

基調講演：プロフェッショナルの働き方

講師：高橋 俊介氏（慶応義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授）

分科会A SDの義務化は何を意味するのか～今後の更なる展開に向けて～

報告者：遠藤 翼氏（文部科学省 高等教育局大学振興課 課長補佐）

分科会B SD義務化対策へのプロアクティブ・アクション

報告者：上島 洋佑氏（金沢大学 国際基幹教育院 特任助教）

喜久里 要氏（早稲田大学 研究戦略センター 事務職員）

分科会C 知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略

報告者：世耕 石弘氏（学校法人近畿大学 広報部 部長）

分科会D 「IR活動を学内で進めていくための実現可能な方法」を考える

報告者：橋本 智也氏（京都光華女子大学 EM・IR部 部員）

分科会E 提案型職員が育まれる職場環境について考える

～現場スタッフと管理職とのグループワークを通じて

報告者：広島経済大学 興動館 石田 真英氏・山手 貴弘氏・中山 紘之氏

分科会F 次代を担う人材の育成と課題

～大学職員としての主体性と幹部人材への目的意識を育む自己研鑽型研修～

報告者：岡田 雄介氏（龍谷大学 学長室（企画推進）課長）

中島 剛氏（帝塚山大学 学生支援センター キャリアセンター 課長）

参加者数：205名

◆SD ワークショップ 2016

【第1回】

日時：11月5日（土）

場所：キャンパスプラザ京都

テーマ：苦情対応のコミュニケーション

話題提供者：京都文教大学 教職・保育福祉職サポートセンター 教職アドバイザー 坂野 治利氏

参加者数：8名

【第2回】

日時：11月26日（土）

場所：キャンパスプラザ京都

テーマ：高等教育政策の動向と地方創生～大学の可能性～

話題提供者：文部科学省 高等教育局大学振興課 法規係長 長谷川 智氏

参加者数：10名

【第3回】

日時：12月3日（土）

場所：キャンパスプラザ京都

テーマ：できる！本格ワールドカフェ～語り合おう、私たちのキャリアデザイン～

話題提供者：大学コンソーシアム京都 SDゼミナール一期生

参加者数：11名

◆「大学職員向け研修」説明会

日時：2017年3月8日（水）14時00分～16時30分

場所：キャンパスプラザ京都 第2会議室

内容：大学コンソーシアム京都 SD事業の説明

SDに関する話題提供

講師：吉武 博通 教授（筑波大学 ビジネスサイエンス系）

情報交換・グループワーク

参加者：13名

（3）京都高大連携研究協議会事業

<概要>

第4ステージプランで示すとおり、高校生・大学生を対象とした「キャリア教育」の視点に重点を置き、質の向上に努める。京都高大連携研究協議会においては、従来から実施してきた事業のうち、京都の大学「学び」フォーラムについては、これまでの共同入試広報事業からキャリア教育を重視した事業への転換を検討する。なお、2016年度も引き続き実施する事業について課題見直しを積極的に行う。

<実績>

◆キャリア教育企画

「まるっと一く in 網野」

日時：2016年9月29日（木）～30日（金）

実施校：京都府立網野高等学校

参加者：高校生30名、大学生11名、地域社会人3名

「まるっと一く in 須知」

日時：2016年10月14日（金）～15日（土）

実施校：京都府立須知高等学校

参加者：高校生 12 名、大学生 6 名、地域社会人 5 名

「まるっと一く in 久美浜」

日時：2016 年 11 月 11 日（金）～12 日（土）

実施校：京都府立久美浜高等学校

参加者：高校生 12 名、大学生 10 名、地域社会人 3 名

「まるっと一く in 大江」

日時：2016 年 12 月 15 日（木）～16 日（金）

実施校：京都府立大江高等学校

参加者：高校生 29 名、大学生 10 名、地域社会人 8 名

◆第 14 回高大連携教育フォーラム

日時：2016 年 12 月 10 日（土）

場所：キャンパスプラザ京都

テーマ：いま、なぜ入試改革か？～教育改革のゆくえを探る～

第 1 部 9：30～14：45

特別講演：インクルーシブ社会を生き抜く次世代に必要な力の育成と大人の学び直し

講演者：京都大学 総合博物館 准教授 塩瀬 隆之氏

講演：高大接続のための入試改革—京都大学教育学部の特色入試の取り組み—

講演者：京都大学大学院教育学研究科 教授 楠見 孝氏

講演：京都工学院高校の挑戦—教育改革の先を目指して—

講演者：京都市立京都工学院高等学校校長 砂田 浩彰氏

京都市立京都工学院高等学校教諭 有本 淳一氏

総括コメント：高大接続システム改革の展望

講演者：大谷大学文学部教授/大学コンソーシアム京都高大連携推進室 荒瀬 克己氏

第 2 部 15：15～17：30

分科会Ⅰ：表現技法「学校×ICT×社会」でシナジーを起こす学習デザイン—越境する学びの仲間と未来を創る—

分科会Ⅱ：数学 これからの時代を生き抜く力を身に付けさせるために—教育改革における数学的モデリングの意義

分科会Ⅲ：英語 英語 4 技能型大学入試に向けた環境整備と学習指導の方向性

分科会Ⅳ：理科 理科教育における「探求」と「アクティブラーニング」—新学習指導要領を見据えて

情報交換会 18：00～19：30

参加者数：143 名

◆「ガールズキャリアトーク」

日時：2 月 18 日（土）13 時～17 時

場所：キャンパスプラザ京都

講師：ミニトークおよび全体統括

戎 多麻枝氏（ワーク&ライフキャリアコンサルタント）

ロールモデルトーク

トーク① 浅沼すず花氏（株式会社 美十）

トーク② 小林香名美氏（株式会社 Plan Do See）

トーク③ 津野十紫氏（京都産業大学）

ライフデザインワークショップ

植村 健志氏（株式会社アイシーエル）※京都府から委託

参加者数：高校生 8 名、大学生 3 名

◆高大連携フューチャーセッション

日 程 2017 年 3 月 19 日（日）10 時 30 分～16 時 00 分

会 場 福知山公立大学 にじいろ食堂

主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都

共 催 福知山公立大学

内 容

ワークショップ① 「学ぶこと」と「働くこと」について考えてみる

ロールモデルトーク 「社会人の『学び』や『仕事』について聞いてみる」

1. 起業家・I ターン 工忠衣里子 氏（里山ゲストハウス クチュール経営）

2. 公務員 森下直哉 氏（舞鶴市役所）

3. 民 間 福谷圭一郎 氏（福大商事株式会社・専務取締役）

ワークショップ② 「学ぶこと」と「働くこと」をつなげてみる

ワークショップ③ 「自分の『未来』を見つめてみる」

趣旨説明：京都府健康福祉部少子化対策課 事業戦略担当課長 竹田章生 氏

講師：植村健志 氏（株式会社アイシーエル）3. 実績

参加者 23 名（高校生 15 名：東舞鶴高等学校 1 名、福知山高等学校 1 名、桃山高等学校 1 名、日星高等学校 10 名、西舞鶴高等学校 1 名、綾部高等学校 1 名）

（大学生 8 名：京都府立大学 2 名、福知山公立大学 5 名、同志社大学 1 名）

各種委員会等の開催について

（1）FD 事業

① FD フォーラム企画検討委員会

6 月 30 日（木） 第 1 回 FD フォーラム企画検討委員会

8 月 4 日（木） 第 2 回 FD フォーラム企画検討委員会

9 月 28 日（水） 第 3 回 FD フォーラム企画検討委員会

11 月 2 日（水） 第 4 回 FD フォーラム企画検討委員会

- 2月2日(木) 第5回FDフォーラム企画検討委員会
 3月28日(火) 第6回FDフォーラム企画検討委員会

② FD企画研究委員会

- 5月25日(水) 第1回FD企画研究委員会
 6月15日(水) 第2回FD企画研究委員会 第1回FDマクロチーム会議 第1回FDミクロチーム会議
 7月19日(火) 第2回FDミクロチーム会議
 7月27日(水) 第2回FDマクロチーム会議
 9月14日(水) 第3回FD企画研究委員会 第3回FDマクロチーム会議 第3回FDミクロチーム会議
 1月17日(火) 第4回FD企画研究委員会 第4回FDマクロチーム会議 第4回FDミクロチーム会議
 3月7日(火) 第5回FDミクロチーム会議
 3月22日(水) 第5回FD企画研究委員会 第5回FDマクロチーム会議

(2) SD事業

① SD研修委員会

- 5月17日(火) 第1回SD研修委員会
 6月28日(火) 第2回SD研修委員会
 9月27日(火) 第3回SD研修委員会
 12月20日(火) 第4回SD研修委員会
 2月23日(木) 第5回SD研修委員会

(3) 京都高大連携研究協議会事業

以下の①・②の会議は、大学コンソーシアム京都に設置された専門委員会とは異なり、京都高大連携研究協議会に設置された委員会である。

① 京都高大連携研究協議会 役員会

- 11月25日(金) 第1回役員会(書面会議)
 3月22日(水) 第2回役員会(書面会議)

② 京都高大連携研究協議会 運営委員会

- 6月22日(水) 第1回運営委員会
 11月18日(金) 第2回運営委員会
 3月16日(木) 第3回運営委員会

③ 高大連携推進室 室員会議

- 6月8日(水) 第1回高大連携推進室 室員会議
 7月6日(水) 第2回高大連携推進室 室員会議
 7月29日(金) 高大連携推進室 拡大会議
 2月28日(火) 第3回高大連携推進室 室員会議

学生交流事業部

(1) 京都学生祭典事業

<概要>

京都学生祭典は、「大学のまち京都」を盛り上げるべく 2003 年に開催され、2016 年度で第 14 回を数える。学生で組織する京都学生祭典実行委員会は、10 月に主催する祭典当日の企画・運営だけでなく、近年では、1 年間を通じた地域交流を深めるため、精力的に活動を行っている。2016 年度においては、新たに「地域活性化プロジェクト」で公募のあった提案を企画実現につなげようと、地域に根差した活動を計画している。

事務局の一翼を担う当事業部では、祭典に向けての支援に加え、1 年間の活動を学生の成長の機会として捉え、年間を通じた支援体制の整備を行う。また、2015 年度には「京都学生祭典学生実行委員に対する活動を通じた成長実感調査」を実施しており、加盟校へはその調査結果をもとに情報発信をするとともに、加盟校や学生が京都学生祭典に積極的に加われる仕組みづくりを検討していく。

<実績>

◆第 14 回京都学生祭典

大学の枠を越えた学生の力を結集させ、「大学のまち・学生のまち」京都の魅力を社会に発信し、京都の地域活性化に貢献するとともに、その活動を通して学生が共に成長していくことを目的に、「京都学生祭典」を京都学生祭典組織委員会の一員として共催する。

《開催日時》2016 年 10 月 9 日（日） 11 時 00 分～19 時 00 分

《会 場》平安神宮前・岡崎プロムナード（京都市左京区）

《テ ー マ》「学生による京都四大祭りへの挑戦」

《企画趣旨》京都学生祭典の理念である「学生の力を遺憾なく発揮」出来るような場・機会をより多く学生に提供することをめざし、「あなたに贈る、学生が本気で輝く晴れ舞台」をコンセプトに、ファッションやアートなど芸術系分野を含めた様々な分野の学生にも今まで以上に参加できるよう趣向を凝らすことで、主体的に参加する祭りを実現する。そのことから、京都の魅力として発信することで地域の活性に寄与する。

《企画内容》①京炎 そでふれ！全国おどりコンテスト ②ファッション企画 ③音楽企画
④縁日企画 ⑤こども企画 ⑥ブース企画 ⑦京炎みこしパレード 等

《来場者数》127,000 人（実行委員会調べ）

《主 催》第 14 回京都学生祭典実行委員会（実行委員長・北川拓海＝同志社大学 3 年）

《共 催》京都学生祭典組織委員会（京都府・京都市・京都商工会議所・一般社団法人京都経済同
友会・公益財団法人大学コンソーシアム京都）

◆地域活性化プロジェクト

京都学生祭典の活動理念である「京都の魅力発信」「地域の活性化」の実現を目指し、「学生と一緒に地域を盛り上げたい」「学生の視点や力でさらなる魅力を発信していきたい」と考えている団体（連携先）と提携し、京都学生祭典のプレイベントと位置付けたイベントを開催するもの。

1. 地域活性化プロジェクト Part1 「京都学生祭典プレイベント in 伏見」

《開催日時》2016年5月21日（土）10時00分～16時00分

《会場》伏見港公園、伏見大手筋商店街

《企画内容》①京炎 そでふれ！披露 ②加盟校学生団体による音楽披露 ③伏見地区の飲食店舗コーナー ④地域の和菓子販売 ⑤京阪ミニ電車の運行、京阪グッズ販売 ⑥子ども向け企画 ⑦東北プロジェクト、熊本地震義援金受付 ⑧京炎みこしパレード ⑨学生祭典メインビジュアル表彰式 等

《来場者数》16,858人（企画参加延べ人数 ※実行委員会調べ）

《主催》第14回京都学生祭典実行委員会

《協賛》京阪ホールディングス株式会社/京阪電気鉄道株式会社

《共催》伏見大手筋商店街振興組合、公益財団法人京都府公園公社伏見港公園管理事務所、京都学生祭典組織委員会（京都府・京都市・京都商工会議所・一般社団法人京都経済同友会・公益財団法人大学コンソーシアム京都）

2. 地域活性化プロジェクト Part2 「京都学生祭典プレイベント in 出町柳」

《開催日時》2016年7月9日（土）11時00分～17時00分

《会場》京阪電車 貸切イベント列車車内、出町柝形商店街、鴨川公園一帯、下鴨神社（糺の森）

《企画内容》①貸切イベント列車発車セレモニー ②銀シャリ&おけいはんスペシャルトークショー ③京炎 そでふれ！披露 ④加盟校学生団体による音楽披露 ⑤学生ファッションショー ⑥子ども企画 ⑦鴨川美化啓発ブース ⑧KYOTOHOKU 報告ブース 等

《来場者数》3,330人（各会場合計延べ人数 ※実行委員会調べ）

《主催》第14回京都学生祭典実行委員会

《協賛》京阪ホールディングス株式会社/京阪電気鉄道株式会社

《共催》出町商店街振興組合、京都学生祭典組織委員会（京都府・京都市・京都商工会議所・一般社団法人京都経済同友会・公益財団法人大学コンソーシアム京都）

◆その他 京都学生祭典実行委員会活動内容一覧

開催日	活動内容	担当部	区分	参加者数	来場者数
4/16（土）	おどり広報@ひらかたパーク	おどり普及部	おどり広報	15人	約50人
4/17（日）	新歓イベント	総務部	実行委員勧誘	50人	約130人
4/17（日）	東北企画事前勉強会	おどり普及部	東北復興支援	90人	0人
4/22（金）	国際交流企画@向島学生センター	年間交流部	国際交流	7人	約90人
4/23.24	新歓イベント	総務部	実行委員勧誘	延べ90人	約150人
4/24（日）	みこし担ぎ手参加@稲荷祭	年間交流部	京炎みこし	2人	-
5/3～5	東北企画@福島・宮城	おどり普及部	東北復興支援	82人	約250人
5/4（水）	おどり広報@石清水八幡宮	おどり普及部	おどり広報	12人	約200人
5/5（木）	みこし担ぎ手参加@藤森神社	年間交流部	京炎みこし	2人	-

5/8 (金)	みこし担ぎ手参加@羽東師神社	年間交流部	京炎みこし	2人	-
5/18 (水)	みこし担ぎ手参加@御霊祭	年間交流部	京炎みこし	2人	-
6/19 (日)	実行委員・おどり手決起集会	おどり普及部	学生間交流	900人	-
6/26 (日)	国際交流企画@東山エリア	年間交流部	国際交流	26人	延べ12人
7/10 (日)	おどり広報@西京極競技場	おどり普及部	おどり広報	213人	約1,000人
7/16 (日)	南丹訪問・農業体験ツアー	総務部	地域活性PJ	5人	3人
7/31 (日)	打ち水@下鴨神社	年間交流部	エコ活動	20人	50人
8/6 (土)	エコサマーフェスタ	年間交流部	地域交流	78人	150人
8/6~11	京の七夕 (ブース出展)	年間交流部	地域交流	44人	-
8/26 (金)	打ち水@伏見区龍馬通商店街	年間交流部	エコ活動	19人	20人
8/30 (火)	打ち水@平安神宮前	年間交流部	エコ活動	43人	-
9/3 (土)	紫竹まつり@紫竹小学校	年間交流部 おどり普及部	地域交流 おどり広報	14人	471人 (※1)
9/9 (金)	おどり広報@京セラドーム	おどり普及部	おどり広報	500人	10,000人
9/11 (日)	国際交流企画@イオンモール京都	年間交流部	国際交流	50人(※2)	3,165人
9/15 (木)	おどり広報@府立植物園	おどり普及部	おどり広報	25人	8,000人
9/18 (日)	岡崎レッドカーペット	年間交流部 おどり普及部	京炎みこし おどり披露	53人 (14人※3)	-
9/22 (木)	おどり広報@伏見稻荷大社	おどり普及部	おどり広報	50人	500人
9/24 (土)	おどり広報@清水寺	おどり普及部	おどり広報	30人	300人
9/24 (土)	おどり広報@二条城	おどり普及部	おどり広報	30人	150人
9/25 (日)	おどり広報@西京区	おどり普及部	おどり広報	20人	4,000人
10/16 (日)	実行委員長選挙	実行委員長	選挙	89人	-
10/23 (日)	実行委員長再選挙	実行委員長	選挙		-
10/26 (水)	企業交流会	営業部	企業交流	40人	12人
11/13 (日)	感謝祭	営業部	懇親	73人	41人

(※1)子ども向けブース参加者数

(※2)留学生実行委員5名含む

(※3)小学生おどり参加者14人

◆第14回実行委員構成人数

構成人数 242名 / 23 大学 1 専修学校

① 加盟校 238名 ② 非加盟校 4人

◆第14回おどり手構成人数

構成人数 957名 / 21 大学 2 短期大学

① 加盟校 956人 ② 非加盟校 1人

(2) 京都国際学生映画祭事業

<概要>

京都国際学生映画祭は、学生の実行委員会が運営する日本最大規模の国際学生映画祭で、2002年（第5回）から財団が単独で主催している。2016年度においても、国内外を問わず、実行委員が広く学生作家の映像作品をコンペ形式で募集し、選考した作品を上映する第19回京都国際学生映画祭（11月開催）の企画や運営、PRを1年間担っていく。

京都国際学生映画祭は、文化芸術都市であり、「学生のまち」でもある京都で、学生クリエイターの発掘や情報発信、国際交流を深める上で開催する意義は大きい。しかしながら、その映画祭を支える実行委員の慢性的な人不足が続いており、実行委員の獲得が今後の活動に左右するため、2016年度は各大学での上映会や活動説明会を通して、新規実行委員の獲得をめざす。また、実行委員の成長を促すためのサイクルの構築といった支援体制についても検討する。

2016年度は、作品募集においてWeb受付も可能としたことにより、前年比約2.5倍の41ヶ国539作品（国内167作品、海外372作品）の応募があった。

<実績>

◆第19回京都国際学生映画祭

《開催日時》2016年11月26日（土）～12月2日（金）

《会場》京都シネマ（京都市下京区 COCON 烏丸3F）

《今年度コンセプト》「つなげる映画祭」

過去18年間で蓄積されてきた伝統を受け継ぎつつ、より作家と作品を大事にし、未来にはばたく才能発掘につなげる。また国際映画祭として、日本と海外をつなげる役割を担う。具体的には、学生映画に関わる人とのつながりを発展させるため、多方面への広報・連携を展開し、実行委員一人ひとりが意識を共有し、開催に向けて活動していく。

《企画内容》①11/26 第一部 16:45～18:30、第二部 19:25～21:30

②11/27～12/1 第一部 16:45～18:55（29日：～18:40）、第二部 19:25～21:20

③12/2 授賞式、グランプリ作品上映、トークショー 18:00～21:00

《来場者数》述べ540人（実行委員会調べ）

《主催》公益財団法人大学コンソーシアム京都

《企画運営》第19回京都国際学生映画祭実行委員会

《運営支援》京都国際学生映画祭企画検討委員会

◆京都国際学生映画祭実行委員会活動内容一覧

開催日	活動内容	参加者数	備考
3/22～5/22	作品募集期間	-	
5/27（金）	京都外国語大学での上映会・字幕翻訳ワークショップ	24人※	※実行委員11人
7/15（金）	「祇園天幕映画祭」招待上映@祇園商店街	295人	プレ企画

7/17 (日)	研修「京都国際学生映画祭の歴史」 講師：板倉一成氏（企画検討委員会オブザーバー）	13人	
8/14・15(日・月)	実行委員審査合宿@あうる京北（京北町）	22人	
8/21 (日)	実行委員二次審査会@キャンパスプラザ京都	20人	
9/24 (土)	「Animation Room」@京都ロフト ※立命館大学ロフト部との連携	112人	プレ企画
10/9 (日)	映画祭 PR ブース出展@京都学生祭典		プレ企画
10/12 (水)	最終審査会@キャンパスプラザ京都		
10/15 (土)	京都国際映画祭招待上映@イオンシネマ京都桂川	26人	プレ企画
10/25 (火)	「Movie, Music, Mani」@T・ジョイ京都	22人	プレ企画
11/19 (土)	目前祭「格差を捉えた学生映画」@京都文化博物館	67人	プレ企画
12/15 (木)	財団職員との活動振り返り会	15人	

◆実行委員構成人数

構成人数：34人／12大学

① 財団加盟校 30人 ② 財団非加盟校 4人

(3) 障害のある学生支援事業

<概要>

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（「障害者差別解消法」）が平成28年4月から施行されることに伴い、各大学は障害学生支援業務に携わる担当者の能力向上や大学の枠を超えた情報共有や連携の場が求められることとなった。これらのニーズに対応するため、京都を中心とした関西にある大学の障害支援業務に携わる担当者による「関西障害学生支援担当者懇談会」を開催し、今後の対応について意見交換を行う。

また、学生へは、聴覚障害学生の授業における情報保障となるノートテイクについての理解やスキル向上を図るため、ノートテイク養成講座を開講する。

<実績>

◆第17回関西障害学生支援担当者懇談会

日時：2016年9月15日（木）13：00～16：45

会場：キャンパスプラザ京都（2階ホール、5階第1～第3共同研究室、6階京都大学サテライト）

主催：大学コンソーシアム京都

参加者数：70名（うち加盟大学17大学34名）

◆第18回関西障害学生支援担当者懇談会

日時：2017年2月16日（木）13：00～16：45

会場：キャンパスプラザ京都（4階第4講義室、5階第2～3共同研究室、5階第3～5演習室）

主催：大学コンソーシアム京都

参加者数：61名（うち加盟大学15大学28名）

◆ノートテイカー養成講座（初級編）

日時：2016年9月16日（金）15：00～17：45

会場：キャンパスプラザ京都（4階第2講義室）

主催：京都市福祉ボランティアセンター、大学コンソーシアム京都

協力：京都市要約筆記サークルかたつむり、特定非営利活動法人ゆに

参加者数：47名（学生27名、教職員17名、財団職員2名、一般1名）

◆パソコン（PC）テイカー養成講座（初級編）

日時：2017年3月24日（金）17：00～19：00

会場：キャンパスプラザ京都（4階第4講義室）

主催：大学コンソーシアム京都

協力：特定非営利活動法人ゆに

参加者数：30名（学生12名、教職員14名、財団職員4名）

各種委員会等の開催について

（1）京都学生祭典事業

① 京都学生祭典組織委員会

9月20日（火） 主要議題：第14回本祭企画、補正予算、ほか

11月18日（金） 主要議題：第14回事業報告、決算見込み、15回発足 ほか

4月11日（火） 主要議題：第14回決算、第15回事業方針、事業計画、当初予算 ほか

② 京都学生祭典企画検討委員会

5月11日（水） 主要議題：第14回本祭業者選定、本祭企画、地域活性プロジェクトほか

7月5日（火） 主要議題：第14回本祭企画、地域活性プロジェクト、補正予算ほか

9月6日（火） 主要議題：第14回本祭企画、補正予算、15回発足および15周年記念事業ほか

11月8日（火） 主要議題：第14回事業報告、決算見込み、15回発足 ほか

12月16日（金） 主要議題：第15回組織体制、事業計画、当初予算案 ほか

3月10日（金） 主要議題：第14回決算、第15回事業方針、事業計画、当初予算 ほか

③ 京都学生祭典事務局会議

4月22日（金） 主要議題：第14回本祭業者選定、本祭企画、地域活性プロジェクトほか

6月17日（金） 主要議題：第14回本祭企画、地域活性プロジェクト、補正予算ほか

8月24日（水） 主要議題：第14回本祭企画、補正予算、15回発足および15周年記念事業ほか

10月25日（火） 主要議題：第14回事業報告、決算見込み、15回発足 ほか

12月8日（木） 主要議題：第15回組織体制、事業計画、当初予算案 ほか

2月21日(火) 主要議題：第14回決算、第15回事業方針、事業計画、当初予算 ほか

(2) 京都国際学生映画祭事業

① 京都国際学生映画祭企画検討委員会

6月2日(木) 第1回(主要議題：本祭・授賞式会場、企画検討委員会委員長任命、コンペ応募状況、コンペ体制、一次審査状況、企画案提出 他)

9月6日(火) 第2回(主要課題：二次審査状況、最終審査員報告、企画案提出 他)

10月27日(木) 第3回(主要課題：入選作品報告、本祭プログラム枠、広報協力依頼 他)

2月14日(水) 第4回(主要課題：第19回開催報告、第20回委員会発足、第20回コンペ募集 他)

(3) 障害のある学生支援事業

① 障害学生支援企画検討委員会

6月28日(火) 第1回(主要議題：委員長選出、2016年度障害学生支援事業、KSSK開催)

11月22日(火) 第2回(主要議題：第18回KSSK開催、ノートテイク養成講座開講)

② 関西障害学生支援担当者懇談会(KSSK)幹事会

5月25日(水) 第17回 KSSKの開催について

10月26日(水) 第18回 KSSKの開催について

国際事業部

(1) 国際連携事業

<概要>

「第4ステージプラン」では、大学コンソーシアム京都が取り組む国際連携事業として、①留学生と日本人学生の相互交流の促進、②留学生受入れ体制の強化、③学生の海外派遣、④グローバル化に対応した大学教職員の育成を主な柱として掲げている。

①留学生と日本人学生の相互交流促進・②留学生受入れ体制の強化

2015年度から、大学コンソーシアム京都が事務局となり、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関等による「留学生スタディ京都ネットワーク」を設立することとなった。

同ネットワークにおいては、「大学のまち・学生のまち・京都」の海外への情報発信、留学生誘致に取り組むほか、留学生と日本人学生の相互交流促進や、住宅支援・就職支援等の留学生受入れ強化にも力を入れていくこととしている。(事業詳細については、「(2) 留学生スタディ京都ネットワーク事業」参照)

③学生の海外派遣

2015年度も引続き単位互換を利用した豪州メルボルン(龍谷大)への派遣を行うとともに、新規に日本人学生向け事業「英語で京都の魅力をプレゼンテーション(仮題)」を開始し、留学説明会・フェア、語学修得支援講座等と併せ、加盟校学生の留学促進を目指す。

④グローバル化に対応した大学教職員の育成

一昨年度より実施した京都の加盟大学教職員向け英語スキルアップ研修について、内容の充実を図り、継続実施する(二期・計6回実施)。過去2年間の参加者のフィードバックを元に、テーマの改編を検討し、今年度は新たにBusiness Writingクラスを新たに開講する。

<実績>

4月12日	英語で京都の魅力をプレゼンテーション募集開始
4月26日	龍谷大学国際学部主催 オーストラリアプログラム留学説明会 プレゼンテーション(合計 学生25名参加)
5月18日	H28年度教職員対象英語スキルアップ研修 募集開始
5月21日	英語で京都の魅力をプレゼンテーション 講義開始 20名参加(～7/2)
6月11日	欧州留学フェア 2016実施 約400名参加
7月3日	TOEFLスコアアップセミナー 41名参加
7月7日	米国州立大学連合「全米日本研究セミナー」参加者との交流会 (米国側13名、京都側8名参加)
7月23日	教職員スキルアップセミナー①(Telephone & Emails) 20名参加
7月30日	教職員スキルアップセミナー②(Active Learning) 11名参加
9月3日	教職員スキルアップセミナー③(Everyday Communication) 15名参加

9月10日	教職員スキルアップセミナー④ (Facilitation) 12名参加
9月13日	英国ビザセミナーin 京都 41名参加
10月1日	教職員スキルアップセミナー⑤ (Business Writing) 22名参加
10月4日	I E L T Sセミナー47名参加
10月8日	教職員スキルアップセミナー⑥ (Presentation) 11名参加
10月11日	インド・アッサム州学校関係者視察受入れ
10月12日	メルボルン派遣プログラム第一回オリエンテーション 17名参加
11月16日	メルボルン派遣プログラム第二回オリエンテーション 16名参加
12月14日	メルボルン派遣プログラム第三回オリエンテーション 17名参加
2月1日	メルボルン派遣プログラム第四回オリエンテーション 17名参加
2月11日	メルボルン派遣 (~3/12 帰国) 17名参加

(2) 留学生スタディ京都ネットワーク事業

<概要>

2015年度に京都地域における留学生（外国人研究者を含む。以下同じ）の誘致、受入体制の整備や、留学生の知識・経験を地域の国際化や活性化に活かすための仕組みづくりをオール京都で推進し、「大学のまち・学生のまち」としての京都の魅力向上に図るため、大学コンソーシアム京都が事務局となり、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関等による「留学生スタディ京都ネットワーク」を設立した。

2016年度については、平成28年度「留学生スタディ京都ネットワーク」総会で承認を得た下記の事業を実施する。

- 1 「留学先・学びのまち」としての認知度の向上
 - 京都留学総合ポータルサイトの運営
 - 海外での京都留学フェア等の開催
 - 日本留学フェア等への出展
 - 留学生PRチームの運営
 - 海外における留学生誘致プロモーションに関するワーキングの設置
- 2 留学生受入環境の整備
 - 留学生向け有給インターンシップの実施
 - 留学生のための住宅情報サイトの創設と運営
- 3 各大学・日本語学校の誘致活動等の支援
 - 「京都留学のすすめ(仮称)」の作成
 - 会員向けセミナー・交流会の開催

<実績>

4月26日	平成28年度「留学生スタディ京都ネットワーク」総会・情報交換会
5月27日	留学生向け有給インターンシップ参加留学生募集開始

6月6日	バンコク（タイ）日本大使館での留学フェア（JuneFair）参加（～6/8）
6月16日,21日	留学生向け有給インターンシップ 参加学生向け説明会（73名参加）
7月2日	留学生向け有給インターンシップ 企業との交流会（53名参加）
7月27日	住環境支援ワーキンググループ第一回会議
7月29日	就業支援ワーキンググループ第一回会議
7月29日	プロモーション戦略検討ワーキンググループ第一回会議
9月29日	プロモーション戦略検討ワーキンググループ第二回会議
10月上旬	京都留学ガイド完成
10月14日	就業支援ワーキンググループ第一回会議
10月15・16日	ハノイ・ホーチミン（ベトナム）での日本留学フェア出展
10月22・23日	北京（中国）での国際教育展出展
10月25・26日	陝西省（中国）での学校等訪問
11月15日	運営委員会第一回会議
11月19日	台北（台湾）での京都留学フェア開催（現地学生430名参加）
11月29日	日中大学教育交流会開催（中国側53校106名、日本側35校71名参加）
12月8日	有給インターンシップ成果報告会（58名）
12月13日	留学生スタディ京都ネットワーク会員団体交流会（22名） （大学と日本語学校との連携プログラムについて）
12月14日	住環境支援ワーキンググループ第二回会議
12月15日	日越教育交流セミナー（日本側29名、ベトナム側9名）
1月10日	留学生向け住宅情報サイトオープン
2月4日	バンコク（タイ）での京都留学フェア開催（現地学生755人参加）
2月8日	就業支援ワーキング第三回会議
2月22日	プロモーション戦略検討ワーキング第三回会議
3月21日	運営委員会第二回会議

（3）短期留学受入事業

<概要>

「大学のまち・学生のまち・京都」の魅力を伝え、京都の大学への留学につなげるため、2014年度事業として、京都市と協働で大学での講義、文化・交流プログラムなどからなる2週間の短期受入れプログラムの開発を行い、2015年度から留学生受入れを開始した。（夏季11名、冬季15名参加）

今年度については、2016年3月から夏季プログラムの募集を開始しており、今後、夏季（2016年7月24日～8月6日）及び冬季（2017年1月15日～28日）の2回、各25名を定員として、海外学生の受入を行う。

<実績>

2016年3月～	2016年夏季プログラム募集開始
7月4日～11日	フランス・ジャパンエキスポでの広報、現地学校等訪問

7月24日～	夏季プログラム開始（～8/6） 17名参加（中国、香港、フィリピン、マレーシア、インドネシア、ベトナム）
10月1日	冬季プログラム募集開始 37人申込み、32人合格通知（うち9人キャンセル）、19人入金
1月15日	冬季プログラム開始（～1/28） 19人参加（オーストラリア、中国、ベトナム、フィリピン、シンガポール、UAE）
2017年3月1日	夏季プログラム募集開始

（４）留学生支援事業（京都地域留学生住宅支援制度）

<概要>

「京都地域留学生住宅支援制度」については、当財団がその事務局を担い、委員会開催、会員証発行、包括契約書締結、機関保証事務、事故対応等の業務（通年）を行う。

<実績>

5月10日	第一回委員会開催
-------	----------

（５）留学生就職支援・交流コミュニティ運営事業

<概要>

文部科学省が2015年度から実施する「住環境・就職支援等留学生の受入れ環境充実事業」の採択を受け、大企業志向の強い留学生の就職にかかる選択肢拡大を図るとともに、地元企業の国際化を支援する観点から、留学生に「京都を学び、地元産業を深く理解し、地元企業を志向する」プロセスを提供する就職支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy」を立ち上げることにより、①留学生の地元への就職を支援し、定着を促進するモデルを構築することにより、留学生が多様な就職機会に出会える環境を整える。

また、留学生の採用に当たっては、多くの企業が留学生に高い日本語能力を求めており、日本語がネックとなって就職活動に困難を感じる留学生が多い実情から、上記の地元企業への就職を志向する仕組みと併せて、②日本語学校との連携により、就職活動に必要な日本語支援を行うプログラム開発に取り組み、留学生の就職活動の円滑化を支援する。

さらに、上記コミュニティ参加者をはじめ、京都で学ぶ現役留学生による「留学生PRチーム」の運営により、③学生の目線に立った海外向け情報発信に取り組むなど、留学生誘致・支援に関する幅広い取組を展開する。

<実績>

4月15日	オリエンテーション① 11名参加
4月26日	オリエンテーション② 21名参加
5月14日	文化体験①（池坊での華道体験） 22名参加
5月27日	就職活動セミナー① 16名参加
6月22日	企業向けセミナー①（留学生等外国人材活用セミナー・交流会）141名参加
6月26日	交流会①（留学生OB・企業関係者との交流会）22名参加

7月7日	日本語スタディグループ Beyond N2 キックオフミーティング 19名
7月21日	合同就職説明会①（留学生向け京都の観光業界・就職面談会）75名
7月23日	文化体験②（浴衣で京都散策）17名参加
8月8日	企業共同プログラム①（日新電機、ヒルトップ訪問）16名参加
9月23日	企業共同プログラム②（高島屋見学）18名参加
10月28日	企業共同プログラム③（キャリアウーマンワークショップ）15名
11月18日	企業共同プログラム④（外国人起業家と話そう）20名
11月22日	合同就職説明会②（留学生向け京都の海外事業企業・就職面談会）40名
12月1日	就職活動セミナー②18名
12月11日	文化体験③（茶道体験&企業見学）27名
12月15日	ビジネス日本語講座①～④（全4回。～1月19日）計71名
1月13日	プレゼンテーション大会（就職活動と留学生採用の相対イノベーション）49名
1月14日	文化体験④（和太鼓体験&ビジネス）11名
2月24日	就活チーム活動開始（試行実施）

各種委員会等の開催について

（1）国際連携事業

① 国際事業部運営委員会

9月21日（水） 第一回会議

3月2日（木） 第二回会議

（2）留学生スタディ京都ネットワーク事業

① 留学生スタディ京都ネットワーク運営委員会

11月15日（火） 第一回会議

3月21日（火） 第二回会議

（3）短期留学受入事業

① 短期留学受入プログラム運営委員会

6月3日（金） 第一回運営委員会

12月16日（金） 第二回運営委員会

（4）留学生支援事業（京都地域留学生住宅支援制度）

① 京都地域留学生住宅支援制度運営委員会

5月10日（火） 第一回会議

調査・広報事業部

(1) 調査企画事業

<概要>

第4ステージプラン（2014～2018年度）で指摘された調査研究機能の強化を図るため、調査企画事業では、2015年度から財団指定調査課題を設定し、事業の効果や成果を明らかにし、今後の事業展開に活かすこととしている。2016年度は以下の財団指定調査課題に設定し、研究者による調査研究を進める。

また、2015年度に設置した「調査事業企画検討委員会」において検討してきた「共通指標」に基づき、原則、全事業で客観的、事業横断的な量的、質的データの集積を開始する。ここで得られたデータは、財団事業の見直しや財団運営のあり方検討の参考とする。また、加盟大学へフィードバックすることで、財団と加盟大学との情報共有の強化を目指すとともに、HPでも公開し、財団の取組の情報発信の推進も図る。

<実績>

1 2016年度財団指定調査課題

(1) 調査テーマ

大学での障害者差別解消へ向けたアクセシビリティと合理的配慮のDBの構築
障害学生支援室連携組織の設立へ向けて

(2) 調査研究担当者

京都大学大学院工学研究科 准教授 吉田 哲 氏

(3) スケジュール

2016年11月4日（金） 中間報告会

2017年3月22日（水） 成果報告会 キャンパスプラザ5階第1講義室・ホール

2 2017年度財団指定調査課題

(1) 調査テーマ検討・策定

調査事業企画検討委員会にて検討のうえ、運営委員会に上程し、テーマを決定。

2017年度課題

テーマ1「学生の交流、特に学問的交流における効果の調査研究と財団事業への活用について（評価および提言）」

テーマ2「『大学のまち京都・学生のまち京都』の大学選択における影響力と財団の果たすべき役割（評価および提言）」

(2) 研究グループの公募・選考

加盟校向けに公募を行い、プレゼンテーション選考にて研究グループを決定する。

(3) 出願状況

テーマ1 … 1件

テーマ2 … 出願なし

(4) 調査テーマ・研究グループ決定 採択1件

<調査テーマ>

学問的交流における意義と効果に関する実証的研究

－「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を生かした学問的交流の場の提言に向けて－

<研究代表者>

龍谷大学政策学部 准教授 井上 芳恵 氏

(5) スケジュール

2016年11月 指定調査課題テーマ決定
2016年11月16日 研究グループ公募開始（～2017年1月31日）
2017年2月14日 審査（書類・プレゼンテーション）
2017年3月7日 研究グループ決定
2017年4月 委託研究契約を締結後、調査研究開始

3 「共通指標」に基づく財団基礎データの収集

2016年度から全事業（共同事業を除く）で「共通指標」に基づく量的、質的データの収集を開始。今年度の集積データは、2017年度に加盟大学へ提供、公開予定。

4 「大学のまち京都・学生のまち京都」推進会議の運営（京都市協働事業）

2月7日 第1回推進会議 「大学・まち・学生 むすぶプラン」の中間評価と次期計画策定に向けた意見交換

3月25日 第2回推進会議 次期計画策定に向けた部会の検討、大学を対象とする調査について

5 京都B&Sプログラム

京都市、JTBとの共同事業。京都に来る修学旅行生を対象に「大学のまち京都」の魅力を発信するとともに、当該事業に参加した大学生の成長の分析も併せて行う（2014年度開始事業）。

6 「第4ステージプラン」中間評価

2014年度から開始した「第4ステージプラン」では、同プランの折り返し点となる2016年度に中間評価を行うこととしていた。各事業部にて検証を行い、10月の運営委員会にて報告した。

(2) 広報事業

<概要>

第4ステージプランの策定にあたっての加盟校アンケート・ヒアリングで、財団事業の認知が不十分であることが明らかになった。広報事業では、①財団HPとSNS (facebook)等による財団事業の発信機能強化、②京都市との共同事業として2015年度に創設した「京都学生広報部」が運営するサイト「コトカレ」の充実と情報発信力の強化を主要事業として取り組む。

<実績>

1 財団ホームページ・SNS の運用

2015 年度アクセス実績の解析・状況分析を実施し、アクセス数の増加、情報発信力の強化を図る。

なお、2015 年度をもって廃止した「京都の大学 学びスタイル」に掲載していた情報の一部（オープンキャンパス・学園祭情報等）は、引き続き財団HPで紹介する。（7 月 4 日（月）公開）

2 京都学生広報部

「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を、京都の大学生たちが全国の中高生に発信することを目指し、2015 年 9 月に創部、10 月に専用サイト「コトカレ」を創設。2 年目となる 2016 年度は、コンテンツの充実、ターゲット層（中高生）への情報発信力の強化等に向け、京都市及び運営支援を委託する日本ディレクション協会・クリエイター育成協会と協働で学生部員への支援を行う。

4 月 20 日（水）、22 日（金） 新入部員説明会 開催（新規加入部員 15 名 計 53 名）

3 会報等の発行

(1) 財団紹介用パンフレット（Information）の更新、発行（6 月中旬発行済）

(2) 会報の発行（年 1 回、2017 年 2 月上旬発行済）

4 「学生のまち京都映像コンテスト」

「大学のまち・学生のまち京都」の魅力発信と ICT 技術の若者への普及・推進を目的に総務省（近畿総合通信局）及び京都市と共同で新規事業として実施。

作品応募件数： 学生部門 7 件、一般部門 1 件

入賞作品： 学生部門 最優秀賞（大学コンソーシアム京都理事長賞）京都大学 4 年生

優秀賞（実行委員長賞）立命館大学 2 年生

特別賞（近畿総合通信局長賞）同志社大学 4 年生

一般部門 該当なし

5 財団広報ワーキンググループ

財団事業について、迅速・明快・正確に、必要なところに情報提供できる体制を整備すること、及び加盟校等からの情報を収集することでニーズを把握し、新規事業の企画、及び既存事業の改善・見直しを行える仕組みを構築していくことを目的とし、具体的な方策を検討・企画・実施するために、各事業部選出メンバーからなる「広報ワーキンググループ」を 11 月に設置した。

- ・加盟校・団体窓口宛メールの配信方法について（基準・手順の設定）
- ・財団における「ウェブサイト」及び「Facebook」による情報発信について（基準・手順の設定）
- ・財団広報研修会の開催 2 月 11 日（土・祝）参加者 23 名
- ・学生を対象とした「大学コンソーシアム京都活用ガイド」の制作

(3) 都市政策研究事業

<概要>

「大学のまち・京都」として、大学の知が集積する京都の地域的特性を活かし、京都のまちの魅力向上を目指した政策研究や学生による研究成果の場の提供等を行う。

<実績>

1 京都から発信する政策研究交流大会

本大会は、キャンパスプラザ京都を拠点に学生・大学院生に政策研究の成果発信の場を提供し、日頃の活動の成果の発表を通じて交流を深め、都市政策に活かすことを目的に2005年度から毎年開催している。

発表件数及び参加者とも増加傾向にあるが、発表者は主に政策系大学・学部からの参加に留まっており、参加大学の拡大が課題である。

2016年度は、都市政策研究推進委員会に「交流大会検討チーム」を設置し、発表者の選考など具体的な検討を行い、2016年12月4日開催の大会に反映させた。

2 「大学の知」を活かした多角的な市政研究事業

2011年度から実施した「未来の京都創造研究事業」の後継事業として、2016年度から新たに、京都市との協働事業として実施。京都が有する「大学の知」を京都市の施策に最大限活かし、市政課題の解決に向けた取組を強化するもので、「文化を活かした京都の活性化」について、4つの分野別テーマ（「観光と文化」「産業と文化」「暮らしと文化」「まちづくりと文化」）を研究する複数のユニットからなる研究グループが、多角的な観点から分析・考察を行う。9月から11月にかけて公募し、11月の選定委員会を経て、京都大学の土佐尚子教授をプロジェクトリーダーとする研究グループが採択された。研究成果を踏まえ、京都市において、2018年度以降に事業化を目指す。（事業期間：2016年から2017年度までの2年間）

3 世界歴史都市会議ユースフォーラム

2016年6月7日（火）～9日（木）に開催の第15回世界歴史都市会議ユースフォーラム（オーストラリア バート・イッシュ市）に京都市代表として参加する学生グループの募集・審査を都市政策研究推進委員会が担当。

（4）地域連携事業

<概要>

本財団では、従来から京都のまちの発展、活性化を目指し、加盟大学が有する知と人材、学生の活力を生かした地域との連携事業を京都市と連携し実施してきた。2016年度からは新たな事業も開始させ、地域と大学の連携強化を図る。

<実績>

1 学まちラボ事業

大学の求める人材育成に資する実践的教育・研究機会の確保と、地域ニーズに基づき大学の知や学

生の活力を生かした課題解決や地域活性化を目的として、大学と地域との連携による取組みに対して助成金を交付する「大学地域連携創造・支援事業（愛称：学まちコラボ事業）」を2004年度から京都市と連携し実施している。

ただし、最近では応募団体数が横ばいとなり、また、継続事業の申請が多数を占める等、参加団体の裾野の拡大、事業PR等が課題となっている。

6月26日（日）開催の学まちコラボ事業公開プレゼンテーション審査会（二次選考会）を経て、採択事業（18件）が決定された。（参考：申請件数 計30件）

2 大学・学生と地域による京都のまちづくり事例集

2015年度より京都市からの指定管理業務として、大学・学生による地域活動事例等を紹介するウェブサイト（大学・学生と地域による京都のまちづくり事例集）を引き継ぎ、当財団で内容の充実・更新を図っていく。なお、本サイトは、大学が地域や市民にとってより身近な存在となり、大学・学生と地域との更なる連携・協働の促進を目的としている。

3 「学まち連携大学」促進事業

大学や学生の力を地域の活性化により活かし、また、地域と連携しつつ学生が学ぶ機会を創出するため大学組織としての地域連携の取組への支援を目的に2016年度から京都市との協働事業として実施した。

京都市内にキャンパスを有する大学を対象に、地域と連携した教育プログラムを開発・実施する取組を公募し、審査のうえ、採択した大学に対し、補助金を交付する（最大4年間）。申請のあった11大学の中から6大学を採択大学として認定した。

4 大学・地域連携サミット（愛称：学^{ガッチ}×地リンク）

各大学における地域連携の事例や、学まちコラボ事業、区役所のまちづくり支援事業での取組を広く発信するため、「大学・地域連携サミット（愛称：学^{ガッチ}×地リンク）」を京都市と協働で実施した。

各種委員会等の開催について

（1）調査企画事業

① 調査事業企画検討委員会

7月07日（木）第1回委員会（主要議題：共通指標運用状況確認、2017年度指定調査課題検討）

9月30日（金）第2回委員会

11月04日（金）第3回委員会（2016年度指定調査課題中間報告）

1月20日（金）第4回委員会

2月14日（火）第5回委員会（2017年度指定調査課題プレゼン審査）

3月22日（水）第6回委員会（2016年度指定調査課題成果報告）

② 大学のまち京都・学生のまち京都推進会議

2月7日(火) 第1回 推進会議

3月25日(土) 第2回 推進会議

(2) 都市政策研究事業

① 都市政策研究推進委員会

4月15日(金) 第1回委員会(主要議題:2016年度政策研究交流大会、検討チーム設定等)

7月1日(金) 第1回交流大会検討チーム会議

9月9日(金) 第2回委員会

11月11日(金) 第2回交流大会検討チーム会議

11月12日(土) 政策研究交流大会事前説明会

11月25日(金) 第3回委員会

12月4日(日) 政策研究交流大会

2月17日(金) 第4回委員会

(3) 地域連携事業

① 学まちコラボ事業(大学地域連携創造・支援事業)選考委員会

6月3日(金) 第1回(主要議題:1次選考委員会)

6月26日(日) 第2回(主要議題:公開プレゼン審査)

11月10日(木) 第3回(主要議題:次年度の課題整理)

2月9日(木) 第4回(主要議題:報告会の実施、次年度の事業募集・採択審査について)

3月26日(日) 成果報告会

② 「学まち連携大学」促進事業選定委員会

9月6日(火) ヒアリング審査

総務部

(1) 総務業務 (法人運営・庶務)

<概要>

(1) 機関会議

法人の意志決定を行うため、運営委員会、理事会、評議員会を行い、会員団体への事業報告等の場として会員総会を開催している。(日程、主な議題等については「各種委員会等の開催について」参照)

(2) 大学のまち・京都サマーミーティング 2016

大学コンソーシアム京都の事業推進や京都市の大学政策の参考とするとともに、京都の大学と京都市の一層の連携を図ることを目的とし、加盟大学学長と京都市長との懇談会を開催する。

<実績>

8月20日 (土)	大学のまち・京都サマーミーティング 2016 ○出席者 (全21名) ＜大学コンソーシアム京都＞ 評議員会、理事会及び運営委員会を構成する大学の学長 (代理の場合は副学長)、専務理事・事務局長 ＜京都市＞ 市長、副市長及び総合企画局長 ○議題 「大学のまち・学生のまち京都」の更なる発展に向けた大学間連携のあり方について
--------------	--

(2) 財務・経理業務

<概要>

本業務は、財団の予算執行管理及び財産の運用などを担当する。

<実績>

6月2日 (木)	2015年度決算監査
10月～	2016年度第1次補正予算編成作業 (1月理事会上程予定)
11月～	2017年度当初予算及び事業計画編成作業 (3月理事会上程予定)
1月21日 (土)	2016年度第1次補正予算 (案) 理事会上程
3月25日 (土)	2017年度当初予算及び事業計画 (案) 理事会上程及び評議員会報告

(3) 研修業務

<概要>

財団職員の力量向上を目指した研究企画の策定・実施を目的とする。2014年度より事業部横断チームを編成し、財団や各事業における理解、連携を深めることに重きを置いた研修を実施してきた。2016年度は、総務部が主体となり、以下の研修を実施する予定である。また、主査を対象とした研修制度を新たに設け、研修制度の充実を図るため、自己研修補助制度を新設した。

<実績>

4月1日(水)	4月新規出向者・採用者向けオリエンテーション
5月10日(火)	5月新規出向者向けオリエンテーション
5月30日(月)	総合防災訓練
6月1日(水)	6月新規出向者向けオリエンテーション
6月15日(水)	ハラスメント研修
6月20日(水)	主査対象自己研修補助制度 新設
8月24日(水)～26日(金)	SPOD フォーラム 2016 (愛媛大学)
9月10日(土)～11日(日)	大学行政管理学会定期総会・研究集会(慶応義塾大学三田キャンパス)
12月17日(土)	財団冬季研修(次年度事業計画案報告及び防災訓練)
3月15日(水)	2016年度業務成果報告会(出向満了予定者)

(4) 全国大学コンソーシアム協議会事業

<概要>

本事業では、全国の大学コンソーシアム組織(大学連合体・大学連携組織)からなる協議会組織「全国大学コンソーシアム協議会」の事務局として、運営委員会・総会の開催、協議会予算の執行管理等を行っている。情報交換・交流の場として「全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」を開催している。

<実績>

○第13回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム(概要)

日時:【1日目】2016年9月10日(土) 13:00～20:15

【2日目】2016年9月11日(日) 9:30～11:30

会場:エリザベト音楽大学、広島国際大学広島キャンパス(広島県広島市)

テーマ:大学連携によるグローバル人材育成

プログラム:【1日目】基調講演、シンポジウム、文部科学省より文教行政報告、情報交換会

【2日目】分科会

	内容	参加人数
1 日 目	基調講演 「広島県における人材育成について～ひろしま未来チャレンジビジョン～」 【講演者】湯崎 英彦氏(広島県知事)	290名
	シンポジウム 「大学連携によるグローバル人材育成」 【シンポジスト】 長坂 康史氏(広島工業大学情報学部教授・情報学部長) 須原 俊男氏(マツダ株式会社 人事室 グローバル人事グループマネージャー) 阿久根 昌夫氏(全国大学コンソーシアムひょうご神戸 事務局長) 太田 克司氏(広島県環境県民局 大学教育振興担当課長) 【コーディネーター】志々田 まなみ氏(広島経済大学 経済学部教授)	
	文部科学省文教行政報告	

	「高等教育政策の動向について」 【報告者】角田 喜彦 氏（文部科学省高等教育局大学振興課長）		
	ポスターセッション （出展 20 団体：広島県、企業 3 社、全国コンソ協議会加盟組織）		—
	情報交換会（広島国際大学和太鼓部による演奏等）		約 150 名
2 日 目	第 1 分科会	社会で真に通用する「グローバル人材」の育成法と課題	公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩 40 名
	第 2 分科会	大学を取り巻く環境の変化に対応する大学連携による FD・SD のあり方を探る	特定非営利活動法人 南大阪地域大学コンソーシアム 55 名
	第 3 分科会	地域連携事業の現状と今後のあり方	公益社団法人 大学コンソーシアム石川 69 名
	第 4 分科会	留学生に対する就職支援・キャリア支援	公益財団法人 大学コンソーシアム京都 24 名
総参加者数			319 名

（５）勤労学生援助会・表彰奨学金事業

＜概要＞

本事業では、「勤労学生援助会」の事務局として、理事会等の開催・予算の執行管理等を行っている。「勤労学生援助会」では、人物・学業とも他の学生の模範となる学生で、学費や生活費をアルバイト及び奨学金等に頼り、家庭からの援助が皆無に近い学生や、京都地域の社会活動で著しく貢献した学生を表彰し、奨学金を給付している。

＜実績＞

6 月 22 日（水）	勤労学生援助会 理事会・総会
2 月 7 日（火）	表彰学生選考委員会
3 月 10 日（金）	勤労学生表彰・奨学金贈呈式

（６）施設管理事業（指定管理）

＜概要＞

施設管理事業は、京都市から指定管理者として 2015 年度から 4 年間の再指定を受け、キャンパスプラザ京都の管理運営を行うこととなった。引き続き、京都市及び施設運営に係る各委託業者（受付、警備、清掃、各種インフラ管理等）と連携を図りながら適切な施設管理を行っていく。

2016 年度は空調設備の大規模改修、予約受付システムの更新を行い、利用者へのサービス向上に努める。

＜実績＞

4 月 1 日（金）	京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例に基づき雑紙の分別義務化
4 月 11 日（月）、25 日（月）	保守点検日

5月9日(月)、23日(月)	保守点検日
7月11日(月)、25日(月)	保守点検日
8月8日(月)、22日(月)	保守点検日
9月12日(月)、26日(月)	保守点検日
10月17日(月)、31日(月)	保守点検日
11月14日(月)、28日(月)	保守点検日
12月12日(月)、19日(月)	保守点検日
1月16日(月)、30日(月)	保守点検日
2月13日(月)、20日(月)、27日(月)	保守点検日
3月6日(月)	保守点検日
3月7日(火)	2017年度予約 一斉受付
3月13日(月)、27日(月)	保守点検日
4月～	使用料の前納振込対応開始

各種委員会等の開催について

(1) 総務業務(法人運営)

① 評議員会

- 4月1日(金) 第1回(主要議題:評議員及び理事の選任について)※書面会議
- 6月25日(土) 第2回(主要議題:2015(平成27)年度事業報告及び決算、理事の選任について)※書面会議
- 7月26日(火) 第3回(主要議題:専務理事の報酬額について)※書面会議
- 3月25日(土) 第4回(主要議題:理事、評議員等の選任、2017(平成29)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都事業計画及び予算について 他)※書面会議

② 理事会

- 6月9日(木) 第1回(主要議題:2015(平成27)年度事業報告及び決算について 他)※書面会議
- 6月25日(土) 第2回(主要議題:理事長・副理事長の選任について 他)
- 7月13日(水) 第3回(主要議題:第3回評議員会の開催について(専務理事報酬決定))※書面会議
- 1月21日(土) 第4回(主要議題:2016(平成28)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 補正予算について、規則の改正について 他)
- 3月25日(土) 第5回(主要議題:2017(平成29)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事業計画及び予算について 他)

③ 会員総会

- 6月25日(土) 報告事項1 2015(平成27)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事業報告及び決算について

※会員総会に引き続き、懇親会を開催

④ 運営委員会

- 4月13日（水） 第1回（主要議題：運営委員の辞任について 他）
5月11日（水） 第2回（主要議題：2015（平成27）年度事業報告及び決算について 他）
6月 8日（水） 第3回（主要議題：2016（平成28）年度 第2回理事会の議題について）
7月13日（水） 第4回（主要議題：第4ステージプラン中間評価の実施について 他）
9月14日（水） 第5回（主要議題：共催事業について 他）
10月12日（水） 第6回（主要議題：第4ステージプラン中間評価について 他）
11月 9日（水） 第7回（主要議題：2017（平成29）年度事業計画策定及び予算編成の
基本方針について 他）
12月14日（水） 第8回（主要議題：規則改正について）
1月11日（水） 第9回（主要議題：2016（平成28）年度 公益財団法人大学コンソーシアム京都
補正予算について 他）
2月 8日（水） 第10回（主要議題：2017年度機関会議等開催日程について 他）
3月 8日（水） 第11回（主要議題：2017（平成29）年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
事業計画・予算について）

（2）全国大学コンソーシアム協議会事業

① 全国大学コンソーシアム協議会 運営委員会

- 5月21日（土） 第1回（主要議題：決算・予算・事業計画等）
9月11日（日） 第2回（主要議題：第13回 フォーラム振り返り・第14回フォーラムについて）
2月25日（土） 第3回（主要議題：第14回 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム
（開催地：沖縄）について 他）

② 全国大学コンソーシアム協議会 幹事会

- 7月22日（金） 主要議題（代表幹事の選出、規定の改正について 等）※書面会議
3月3日（金） 主要議題（新規会員の入会について 等）※書面会議

（3）勤労学生援助会・表彰奨学金事業

① 勤労学生援助会理事会・選考委員会

- 6月22日（水） 第1回 理事会・総会（主要議題：事業・決算報告 他）
2月7日（火） 表彰学生選考委員会（主要議題：表彰・奨学金授与学生の選考、他）
3月10日（金） 勤労学生表彰・奨学金贈呈式